

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

## 事業名 観光施設ネットワーク形成推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 観光資源係 電話番号：058-272-1111 (内 3058)

E-mail：[c11334@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11334@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 3,000 千円 (前年度予算額：3,000 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
要求額	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
決定額	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

愛知・岐阜には、自動車・航空機などのモノづくり産業、窯業・繊維などの伝統産業、城や武将などの歴史・文化資源など、両県共通の観光資源が豊富にあるが、これらを両県が共同してPRを行うなど連携した取組ができていないため、両県を訪れる観光客を互いの県に呼び込む流れを創出できていない。

そこで、愛知県と連携して、両県を訪れる観光客の広域周遊を促進するとともに、本県への更なる誘客を図る。

### (2) 事業内容

愛知・岐阜両県の観光資源を活用した広域観光を促進し、観光交流人口の拡大、更には観光消費額の増大を図るため、以下の事業を実施する。

#### ①情報発信の実施

- ・産業観光・武将観光施設を紹介するパンフレットの作成
- ・雑誌等のメディア掲載などによる両県の周遊を促すプロモーションの実施

②周遊企画の実施

- ・①に掲載された施設を巡るスタンプラリーの実施

(3) 県負担・補助率の考え方

愛知県と岐阜県で1 : 1負担 (各県 3,000 千円)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	3,000	パンフレット作成経費、スタンプラリー実施経費 等
合計	3,000	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

II ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

岐阜県成長・雇用戦略

(2) 事業主体及びその妥当性

愛知県と連携して取り組む事業であるため、県が事業主体として実施することが妥当。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 県内の観光資源や旅行プランを積極的にPRすることで、観光入込客、宿泊客を増やし、観光消費額の増大を図る。  
 第1ステージ（H20-H24）観光資源の掘り起こしとブランディング〈点の拡大〉  
 第2ステージ（H25-H29）宿泊滞在型観光の本格展開 〈点から線へ〉  
 第3ステージ（H30-）岐阜ならではの宿泊滞在型観光の定番化〈線から面へ〉

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
観光消費額	億円 (H-)	2,819億円 (H29)	2,822億円 (H30)	2,933億円 (R1)	3,300億円 (R7)	88.9%
観光入込客数（実数）	万人 (H-)	4,556万人 (H29)	4,603万人 (H30)	4,800万人 (R1)	4,900万人 (R7)	98.0%
外国人延べ宿泊者数	万人 (H-)	98万人 (H29)	148万人 (H30)	166万人 (R1)	180万人 (R7)	92.2%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
- ・産業観光・武将観光パンフレットの作成
- ・雑誌等のメディア掲載などによる両県の周遊を促すプロモーションの実施
- ・両県の産業観光施設、武将観光施設を巡るスタンプラリーの実施

### （前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
- ・両県の観光PRツールの作成により、広域周遊の促進が図られた。  
 （R1実績）・産業観光・武将観光パンフレット：6万部配布  
 ・スタンプラリー応募実績：2,252人

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）</li> </ul> <p>○：必要性が高い      △：必要性が低い</p>	
<p>(評価)</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光滞在時間及び観光消費額の増大を図るためには、両県に存在する各観光施設を点ではなく線で繋ぎ、観光客を広域周遊させる仕組みを作ることが必要である。</li> <li>・また、併せて、各観光施設の受入環境を整備することも必要であり、本事業の必要性は高い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）</li> </ul> <p>○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている</p> <p>△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
<p>(評価)</p> <p>○</p>	<p>本事業を通じ、両県の連携が進み、相互に両県の魅力を発信できる体制の整備が進みつつある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）</li> </ul> <p>○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</p>	
<p>(評価)</p> <p>○</p>	<p>愛知・岐阜広域観光推進協議会の開催等を通じ、関係者間の情報共有が図られ、事業が効果的かつ効率的に進められている。</p>

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> <li>・両県の広域周遊観光の推進に向けた連携・情報発信の強化</li> <li>・各観光施設の受入環境の整備・強化</li> <li>・訪日外国人旅行者に向けた取組み</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> <li>・両県に共通する観光資源である「武将観光」、「産業観光」をテーマとしたパンフレットの作成、スタンプラリーを実施する。</li> <li>・雑誌等のメディア掲載などによる両県の周遊を促すプロモーションを実施する。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【○○課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	